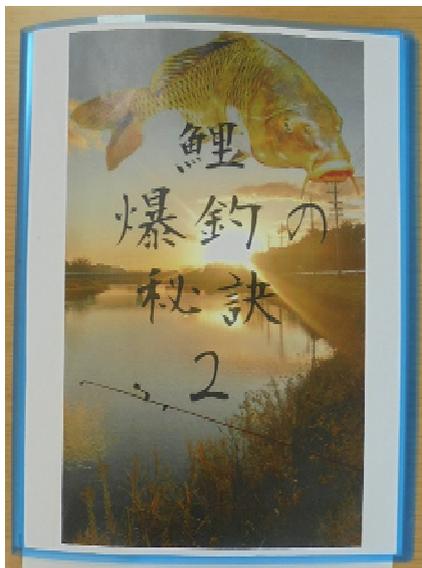


9月1日(火)

## 3年N・T君が夏の一研究に取り組みました

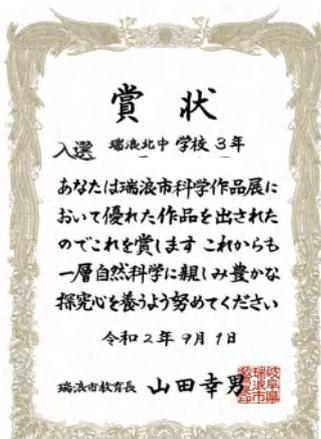
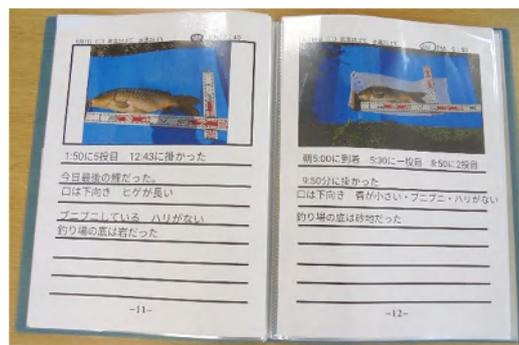


たった9日間の短かった夏休みでしたが、3年生のN・T君が趣味である釣りを題材に夏の一研究としてまとめ、市の科学作品展で入選しました。

瑞浪北中からの唯一の出品である彼の作品は、趣味の釣りの実践が中心にまとめられています。今年度は一人一研究一作品が課題でなかった分、やるかやらないかの判断から大切になる主体性が大きく関わっていると言えます。

やるかやらないかは自由という状況で、やる方を選択した意欲や情熱は、全校生徒339人中で最も強かったと言えるのではないのでしょうか。北中が目指す主体性が作品づくりに表れていたという点で、拍手を送りたいと思います。

作品の中身は、6月からの釣りの記録が綴られています。釣果があるたびに写真を撮り、細かな記録が残されています。釣れた時間を見ると午前中が多く、中には午前5時50分という記載がありました。彼は朝早くから釣りに取り組んだようです。1メートル近い鯉を釣ったこともあり、釣り上げるだけで相当の力と根気が必要だったことがわかります。



強い意志で作品にまとめようとしたこと、粘り強く釣りという研究に取り組んだことが、入選という結果につながりました。